

ベトナムの仕事別の給料はどのくらい？

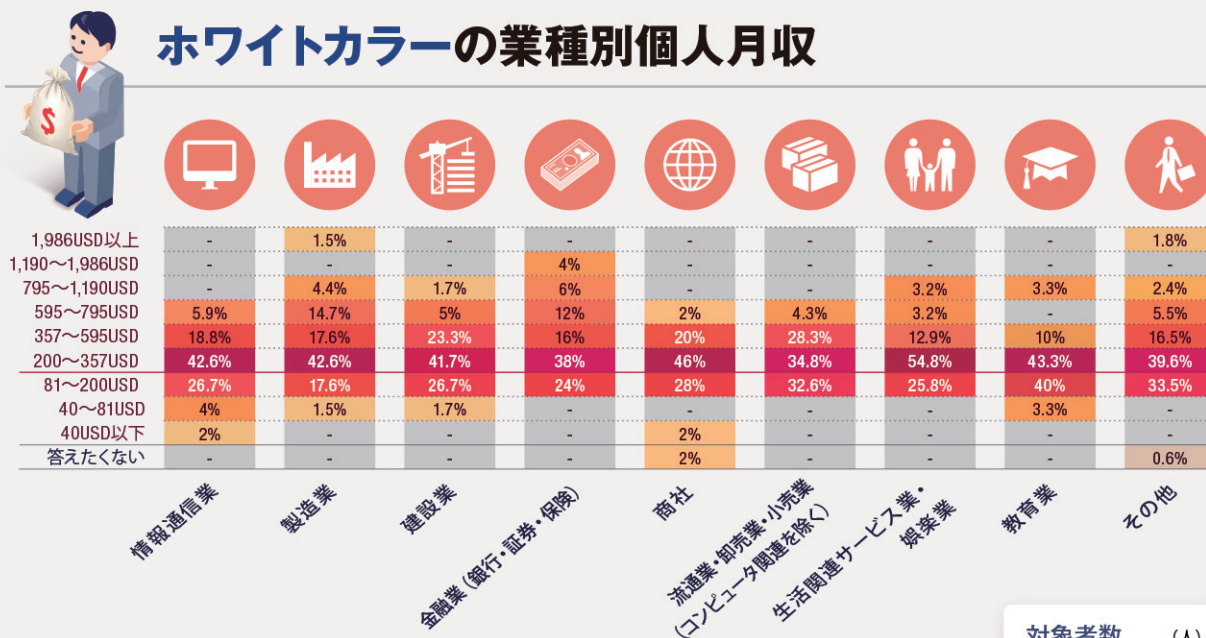
今回は特集記事のスピンオフ企画として、業種別の個人月収を取り上げます（※業種は自然サンプル回収数であり、回答が少ない業種はグラフ化していません）。全体的には200~357USDと答えた層が最も多いと、ひと目でお分かりいただけると思います。

中でも興味を引くのが、ホワイトカラーでは「金融業（銀行・証券・保険）」、ブルーカラーでは「土木建築」の収入の多さ。しかし、両者を比較すると、200USD/月以下の割合は「金融業」24%に

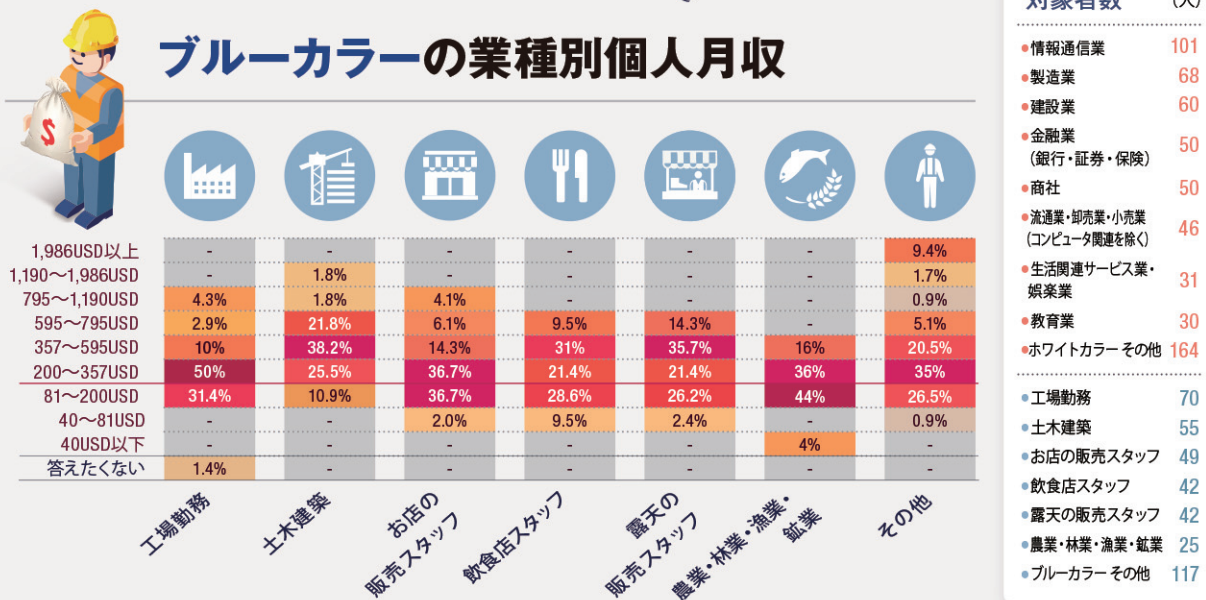
対して「土木建築」が10.9%で、357USD/月以上の層では「金融業」32%に対して「土木建築」では64%となり、「土木建築」の仕事に就いている人のほうが相対的に月収が良い人が多いのです。

そのほかには「教育業」、「露天の販売スタッフ」、「農業・林業・漁業・鉱業」等は、通常はあまりマーケティングセグメントになることが少なく、興味深いデータではないかと思えます。皆さまの感覚と照らし合わせるといかがでしょうか。

ホワイトカラーの業種別個人月収



ブルーカラーの業種別個人月収



対象者数	(人)
情報通信業	101
製造業	68
建設業	60
金融業（銀行・証券・保険）	50
商社	50
流通業・卸売業・小売業（コンピュータ関連を除く）	46
生活関連サービス業・娯楽業	31
教育業	30
ホワイトカラー その他	164
工場勤務	70
土木建築	55
お店の販売スタッフ	49
飲食店スタッフ	42
露天の販売スタッフ	42
農業・林業・漁業・鉱業	25
ブルーカラー その他	117

■調査地域：ベトナム全土 ■調査対象：1,000人（20代・30代各500人、ホワイトカラー600人・ブルーカラー400人） ■調査手法：インターネット調査（2014年12月27日～2015年1月7日）

調査・デザイン：GMO Research Pte. Ltd.

※「テクノロジー×リサーチ」を標榜しアジアの声を収集中
info@gmo-research.jp (ナカジマ)